

豊川共生ネットみらい 沿革

構成人員（2014/9月現在） 個人会員50人（女性32名 男性18名） 団体会員4

『豊川共生ネットみらい』の前身は『豊川男女共生ネットみらい』です。『豊川男女共生ネットみらい』は、「とよかわ男女共同参画プラン（2001年施行）」の策定審議に1999年より関わった3女性市民団体を核として2000年5月に9団体、22名の個人会員（女性16名、男性6名）で設立しました。創立以来、男性を含めた組織です。

現在、団体会員4、個人会員50名ですが、脱退した団体会員の中で個人会員になった人もいます。男性会員は増加傾向にあります。

活動には創立以来、変わらない二本の柱があります。

- ①自己尊重ができ、他人を受容できる自己形成。個人のこの成長が男女共同参画社会の土台となっていくと考えます。
- ②豊川市男女共同参画基本計画にある『人権を尊重し、自立と思いやりの心を大切にすまち』です。

2007年に『豊川共生ネットみらい』と名称変更しました。

その理由は、当時、男女共同参画社会づくりのキーワードとして、“男らしさ・女らしさの見直し”が強調された結果、“女が強くなる、家庭が破壊される、社会秩序が乱れる”といった理由で男女共同参画社会反対の声が日本のあちこちで起こっていたからでした。“男らしさ・女らしさ”は否定されるものでなく、あくまでも、社会そのものが人それぞれの持ち味を大切にするという雰囲気をかもし出すことが重要であること、男女のくくりの中には子どもも年配の方も障がいのある方も外国籍の方も入っていること、男女の分け方すら観念的なもの、こう考えた時それらを受け入れていく社会が男女共同参画社会だと捉えたからです。当時の風潮に巻き込まれないための名称変更でした。

『豊川共生ネットみらい』は運営体制によって内部でミニ男女共同参画社会を体現しようと心掛けています。

- ①自他を尊重する『平場の関係』の組織づくり
- ②「この指とまれ」方式の自発的企画提案の推奨
- ③企画の賛同者による事業実現
- ④その事業からいつでも代表になることができる複数代表制

です。これにより、女性のための委員会・条例学習委員会・託児システム研究委員会・かぞくの未来を考える委員会・支え合いの社会を考える委員会・ホームページ管理委員会が次々と立ち上がりました。現在、女性のための委員会はプライバシー保護を主とした安全面から別組織とし、『mirai みらい』として女性支援（DV被害者支援・女性のための電話相談・女性のための談話室）を日常的に行っています。条例学習委員会は、豊川市男女共同参画推進条例の策定委員に任命された3名の会員を核に設立されました。月例の定例会（2007年度～2008年度）で他自治体の条例の検討、豊川市の実態把握などに議論を尽くし、豊川共生ネットみらい版の条例案を提言し（2008年度）、豊川市男女共同参画推進条例制定に貢献しました。2009年5月に豊川共生ネットみらい主催で「豊川市男女共同参画推進条例制定記念祝賀会」を開催しました。

条例学習委員会は条例が制定された段階で解散となりましたが、豊川共生ネットみらいは、男女共同参画の視点で社会状況を把握しながら、事業活動を行っています。例えば、2011年3月11日の東日本大震災の避難所生活では平時のジェンダー意識が露呈し、DV、セクハラなど様々な問題が起きました。

これを重く受け止め、2011年度から2012年度にかけジェンダー払拭の方策を探る中、「避難所運営ゲームHUG」にいきつきました。早速、防災対策課に「避難所運営ゲームHUG」の購入と普及を提言しました。まず、防災対策課の方と豊川共生ネットみらい会員で2回試行（2003年度）しました。現在、町内会、防災リーダーの会、民生委員児童委員協議会などが体験しており、さらに市民に浸透していくものと思われまます。

このように、市民の、男女共同参画意識（ジェンダー意識の払拭）には、民間の草の根サイドからの底上げと行政サイドからの指導が男女共同参画社会づくりには欠かせないものだと考えています。従って、民間と行政が対等な関係のもとで協働事業を行うことが、より効率的効果的に豊川市の速やかな男女共同参画社会づくりにつながります。豊川共生ネットみらいはこのことを肝に銘じて活動しています。

「女性のためのエンパワーメント講座“自分でするこころの手入れ”（2005年度～）」は2008年度から豊川市男女共同参画協働型事業となり、「ロジカルシンキング講座“感情摩擦を避けるために”（2009年度～）」は2012年度から豊川市男女共生セミナーとなりました。行政が豊川共生ネットみらいの講座開催意図を理解し、講師料・情宣を担い、豊川共生ネットみらいが講師折衝・企画・運営の形で協働事業として展開しています。

市民誰もが同じスタートラインに立つことで男女共同参画社会づくりは進められていきます。しかし女性は、男性よりも強く慣習などに縛られ自ら行動規制することがあり、同じスタートラインに立つことに戸惑いがあります。女性が自らの「自分らしさ（アイデンティティ）」に気づき、男性と同じスタートラインに立つための力を養い自己を再構築することを目的に、これらの講座は開かれています。「女性のためのエンパワーメント講座」は女性のみですが、「ロジカルシンキング講座」は男女ともの参加とし、一歩でも男女共同参画社会に近づくように講座内容の工夫をし、企画しています。

豊川男女共生ネットみらいであった頃に開催した「豊川市男女共同参画フォーラム（2001年度～2004年度）」は、当時豊川男女共生ネットみらいとしての活動実績はまだなかったのですが、すでに活動経験10年以上の実績のある9団体会員が核となって、民間ならではの企画運営をすることができました。例えば、「交流広場・豊川女性市議6名への質問」「覆面トーク・男の本音ここだけの話」（2001年度）、「ワイワイ答えてドンドン語ろう！女の言い分男の言い分」（2003年度）、「ワイワイ語ろう！今のわたし、10年後のわたし」（2004年度）、相談室（悩んでいませんか。夫・恋人からの暴力）（2002年度 2003年度）など、これらは、現在の活動の基礎となっています。その後の「ワイワイ語ろう！結婚しない男女の増加」（2005年度）「男女共同参画というけれど・・・私の本音」（2006年度）「今再び、男女共同参画は必要か？」（2014年度）につながりました。また、女性支援活動もここから始まりました。

「ワイワイ語ろう！」は老若男女の市民が集い語り合う市民大討論会の様相を呈しています。高校生の参加があり、ここが次世代に男女共同参画社会のあり方を伝えていく場ともなっています。

現在『mirai みらい』と称している、女性支援活動は2003年度から始めました。最初のDV被害者の方は『かけこみ女性センターあいち』からの紹介でした。

年度	電話相談・面談相談	生活支援・自立支援
2003	31	2
2004	19	3
2005	95	6
2006	81	6
2007	104	4
2008	101	8
2009	96	5
2010	35	5
2011	48	7
2012	131	6
2013	125	6

相談支援・自立支援を行った女性の中には外国籍の方もいます。

2010 年度から愛知県健康福祉部に出前講座をお願いし、講師派遣と講師料の支援をしていただき、市民のDV理解を促しています。

豊川共生ネットみらいの運営には六つの特徴があります。

第一は、毎年の活動テーマを決め、会員のみならず市民へ共通理解を求めようとする事です。

2002 年度【足元からの男女共同参画社会をめざす】

2003 年度【気づきから始めよう 個性輝く未来へ】

2004 年度【気づいて一歩踏み出す勇気】

2005 年度【勇気をかたちに わたしからの発信】

2006 年度【勇気をかたちに わたしからの発信】

2007 年度【勇気をかたちに わたしからの発信】

2008 年度【みんなでつくろう！みんなの男女共同参画】

2009 年度【やっと条例ができたよ！みんなで活かそう！】

2010 年度【条例ができたよ！みんなで活かそう！】

2011 年度【条例ができたよ！みんなで活かそう！】

2012 年度【防災にも男女共同参画の視点を！】

2013 年度【防災にも男女共同参画の視点を！】

2014 年度【今再び、男女共同参画は必要か？】

第二はその時の社会情勢を見つめた上で講演会や講座の講師と折衝し依頼するという事です。その際、直後に振り返りの場を作るように心がけています。

2004 年度 夜回り先生水谷修講演会「闇に沈む子どもをつくらないために」

2005 年度 森田ゆり講演会「子どもの虐待のうらにひそむもの～子どもを暴力の被害者にも加害者にもしないために～」

草谷桂子講演会「絵本のこころ 子どものこころ～男女共同参画社会のたくさんの誤解を解くために～」

2012 年度 10周年記念講演会 上野千鶴子講演会

「家族持ちから人持ちへ・支え合いのネットワークづくり」

2014 年度 愛知県副知事吉本明子講演会

「女性が元気に働き続けられる愛知の実現をめざして」

上野千鶴子講演会では、上野千鶴子を囲む会を行い、ジェンダーを話題に100名ほどの市民が参加しました。夜回り先生水谷修講演会でも、講演後の振り返りを市民参加で行いました。これらの振り返りの場では、前述した「ワイワイ語ろう！」と同じ自由な雰囲気の中で語り合えるようになってきました。そこで、2014年5月10日開催の愛知県副知事吉本明子講演会後では、「ワイワイ語ろう！今再び、男女共同参画は必要か？」と銘打ちました。参加者が自分の意見を堂々とした発言から、男女共同参画意識の定着が確実になりつつあると感じました。

第三は、講座や講演会には託児を必ず行い、育児世代の方々の参加を促していることと、参加無料とし誰もが参加できる場としていることです。参加者を広範囲に求めることで、男女共同参画社会の土台が

くられると考えています。託児はNPO法人与よかわ子育てネットに委託しています。互いに刺激しあい、団体としての発展をめざしています。

第四は、行政との連携を求め、情報共有を図っていることです。

行政懇談会（2001年度 2002年度 2006年度 2008年度）生活活性課とざっくばらんに語ろう会（2003年度 2005年度）市長とランチ（2008年度～）新市民病院職員との懇談（2013年度）

この中で学び、行政へ提言することもあります。（下記、一部）

「託児ボランティア活用システムについて提言」（2006年度）

「豊川市男女共同参画に関する意識調査報告書についての意見」（2008年度）

「豊川市男女共同参画基本計画（案）についての意見」（2009年度）

「第3次男女共同参画基本計画施策（内閣府）に対する意見」（2009年度）

「“女性のためのサポートハンドブック”についての意見」（2010年度）

「とよかわ協働基本方針についての提言」（2011年度）

第五は会員のみの定例会を会員以外の市民にも開き「開かれた学習会」にしたことです。講師は会員・行政職員・市会議員・他市民活動団体などがなります。共に学びあうことは男女共同参画社会の基盤です。その大切さを感じる場です。「豊川市の男女共同参画」井川郁恵、「避難所の男女共同参画」生活活性課、「災害時の共助」防災対策課（2012年度）「第2次地域福祉計画」福祉課、「新豊川市民病院視察」市民病院経営企画室、「いざという時のために知って安心成年後見制度」豊川市成年後見支援センター（2013年度）

第六は、活動の参加には会員の自主性に任せることです。「やりたい人がやる。やりたくない人はやりたい人の足をひっぱらない」が個々の基本姿勢で、すべては無償で取り組んでいます。ここ数年、会員外の方の活動参加があります。

このように、豊川共生ネットみらいは、市民・行政のお蔭で男女共同参画社会実現をめざす活動が可能となっており、今後も目標に向かって協働して歩んでまいります。

豊川共生ネットみらいの目的

男女共同参画社会の形成の促進を目指し、各団体、グループ（以下「団体等」という）及び個人間の交流を通して各団体等の活動の活性化を促進するとともに、地域社会の発展に寄与することを目的とする。

豊川共生ネットみらいの活動の概要

- (1) 男女共同参画社会実現に向けての調査・研究・提言・事業等
- (2) 会員相互の交流及び情報交換
- (3) 会員の社会参加の促進
- (4) 同一目的を有する他団体との交流

(5) その他目的を達成するために必要な作業

豊川共生ネットみらいの活動の沿革

2000年2月 設立準備会立ち上げ

発起団体：豊川女性クラブ eye・豊川にじの会(現プラクトピア・カフェ)・豊川ぷらんの会

2001年5月24日 豊川男女共生ネットみらい設立 団体会員9 個人会員22

① 豊川市男女共同参画フォーラム

1. 第1回～第3回 午前午後受託(2001年度～2003年度)

2. 第4回 午前受託(2004年度)

3. 第5回 参加(2005年度)

第1回 講演：「女と男 自立と支え合いの社会をめざして」樋口恵子

「交流ひろば」豊川女性市議6名への質問

覆面トーク「男の本音・ここだけの話」 など

第2回 講演：「しなやかな改革 いつでもどこでもだれもが」田中康夫

講座：「気づいてみよう！くらしのジェンダー」

「わたしたちにできる NPO 市民参画社会をめざして」

相談室：「悩んでいませんか。夫・恋人からの暴力」

報告：「日本女性会議2002あおもりに参加して」 など

第3回 講演：「よろこびをちからに」有森裕子

市民討論会：「ワイワイ答えてドンドン語ろう！女の言い分男の言い分」

展示：女性史年表 東三河ジェンダーアンケート結果

女性相談室 子育てサロン など

第4回 市民討論会：「ワイワイ語ろう！今のわたし、10年後のわたし」

第5回 市民討論会「ワイワイ語ろう！結婚しない男女の増加」

②講演会(NPO法人とよかわ子育てネットおんぶぎつねこんに託児委託・参加無料)

夜回り先生水谷修講演会「闇に沈む子どもをつくらないために」(2004年度)

5周年記念講演会 森田ゆり講演会(2005年度)

「子どもの虐待のうらにひそむもの～子どもを暴力の被害者に加害者にもしないために～」

草谷桂子講演会(2005年度)

「絵本のこころ 子どものこころ～男女共同参画社会のたくさんの誤解を解くために～」

中田直助講演会「子どもから見た親の姿～いごちのいい家族とは」(2006年度)

中田直助講演会「子どもの自立・親の自立を考える～大人の見えていない子どもの力～」(2007年度)

10周年記念講演会 上野千鶴子講演会と上野千鶴子を囲む会(2012年度)

「家族持ちから人持ちへ・支え合いのネットワークづくり」

吉本明子愛知県副知事講演会(2014年5月10日)

「女性が元気に働き続けられる愛知の実現をめざして」

③ 講座（NPO法人とよかわ子育てネットおんぶぎつねこんに託児委託・参加無料）

1. 男女共同参画社会の基盤づくり
 - i 女性のためのエンパワーメント連続5回講座（2005年度～）
 - ii 女性のためのエンパワーメント講座ダイジェスト版（2012年度）
 - iii ロジカルシンキング一日講座（2009年度～）
 - iv アサーショントレーニング講座（2009年度）
 - v ハッピー家族になるためのコミュニケーションのコツ（2012年度）
 - vi 批判に対処するコツ（2013年度）
2. 人材育成
 - i ファシリテーター養成講座（2006年度～2008年度）
 - ii 電話相談の心構え（2007年度）
 - iii 相談者のこころを聴く（2009年度～2010年度）
 - iv 相談支援スキルアップ講座（2011年度）
3. DV理解講座（2010年度～）

④ 女性支援（DV被害者支援）【名称 mirai みらい】（2003年度～）

1. 電話相談 毎月第1・第3の月曜日 13:00～16:00
2. 面談 毎月第1金曜日 10:00～12:00
3. 女性のための談話室 毎月第1金曜日 10:00～12:00

⑤ 行政との連携など

1. 豊川市男女共同参画フォーラム受託（第1回～第4回）（2001年度～2004年度）
2. 豊川市男女共同参画協同型事業受託
女性のためのエンパワーメント5回講座（2008年度～）
3. 豊川市男女共生セミナー受託
ロジカルシンキング講座（2012年度～）
4. 豊川市パートナーシップ推進出前講座
 - i 相談者のこころを聴く（2009年度～2010年度）
 - ii 相談支援スキルアップ講座（2011年度）
 - iii ハッピー家族になるためのコミュニケーションのコツ（2012年度）
 - iv 批判に対処するコツ（2013年度）
5. 愛知県健康福祉部児童家庭課出前講座
DVの理解講座（2010年度～）
6. 行政懇談会（2001年度～2003年度 2005年度～2007年度）
7. 市長とランチ（2008年度～）

⑥ 定例会と開かれた学習会（2005年度～ 参加無料）

1. 定例会（毎月第3木曜日）
 - i 事業の企画運営

ii 調査・研究

- ・規約改正について（2007年度）
- ・豊川市の男女共同参画の条例に向けての学習（2007年度～2008年度）
- ・提言内容の検討

2. 開かれた学習会

定例会の中で市民参加を呼びかけて開催

i ビデオ視聴と話し合い

「日本のこれから、どう思いますか、子どもの生まれない社会」（2005年度）

「日本のこれから、聞こえていますか。女の怒り。知っていますか、男の本音。～男女共同参画というけれど・・・」

（2006年度）

ii 「支えあいの社会をめざして生まれた制度～40歳から払っている介護保険～」

（2009年度）

iii 「豊川市の男女共同参画」（2012年度）

iv 「避難所の男女共同参画」（2012年度）

v 「災害時の共助」（2012年度）

vi 「小規模多機能型居宅介護施設ぬくぬく」（2012年度）

vii 「避難所体験運営ゲームHUGの体験」（2012年度～2013年度）

viii 「豊川市第二次地域福祉計画」（2013年度）

ix 「新豊川市民病院視察」（2013年度）

x 「いざという時のために知って安心 成年後見制度」（2013年度）

⑦ 他団体との交流・協力・連携など

1. ウィメンズネットこまきと交流（2005年度）

2. 豊橋女性フォーラムと交流（2006年度）

3. 総会後の交流会（2001年度～）

会員のみならず、行政・男女共同参画推進に関わる団体や個人を
ゲストとして招く

4. 豊川高校

i 豊川共生ネットみらい総会にゲストとして招く（2005年度～）

ii 豊川高校5者フォーラム参加（2007年度～2010年度）

5. 名城大学人間学部（2010年度）

i 地域女性のライフヒストリー調査に協力

ii 授業「ジェンダーと社会」のゲストスピーカーに招かれる

6. NPO法人とよかわ子育てネット おんぶぎつねこん

講座・講演会の託児委託（2004年度～）

7. NPO法人どんぐり工房（2004年度～2011年度）

コーヒーショップを行い、互いの活動資金づくり

8. かけこみ女性センターあいち（2003年度～）

i DV被害者の支援連携

ii DV関係の情報交換

表彰

2007年10月17日 国際ソロプチミスト豊橋社会ボランティア賞
女性のための支援活動（主にDV被害者支援）に対して表彰されました。